

# 活動計画はなぜ作るの？

活動者が手をつなぎあうことで福祉の網の目を細かくしたい！

この計画は、神奈川区地域福祉保健計画のスローガンである「これからも住み続けたい神奈川区」にするために、活動者である私たちが何をすれば良いかという、「活動者の計画」を作るためにはじまりました。

現在も様々な活動団体、多くの活動者がそれぞれの夢や思いを持って活動していますが、活動者同士が手をつなぎあうことで今よりもさらに一歩前に進むことができるのではないのでしょうか。



困ったときに相談できる。悩みや課題を共有できる。一緒に笑いあえる。そういう関係をたくさん作り、活動者同士のネットワーク（網の目）を細かくしていけば、きっと困っている人がいてもどこかの網に引っかかり問題の解決につながるができるのではないのでしょうか。

みんなで手を携えて一歩進んでいきたい。そんな思いがこの計画には詰まっています。

## 計画策定で目指しているもの

### 利用者の課題解決の為に

助けを必要とする方の課題を地域の中で解決し、誰もが安心して暮らせる、住みづつきたいまちを作っていくことが目標です。

### 活動者のネットワークを

この計画は、地域活動の推進役となる方々を対象とした計画です。地域課題を解決していくために、活動者のネットワークを形成していくことを目指しています。

### 活動者自らが作る

この計画が地域活動団体や福祉施設の活動のための実質的計画となるよう、できるだけ多くの活動者に計画づくりに参画してもらえることを目指しました。

## 地域福祉保健計画と地域福祉活動計画

地域福祉保健計画は、区民が主体的に地域福祉を推進し、これからも住み続けたい神奈川区にするために、地域と区が協働して策定した計画です。

地域福祉活動計画は、社会福祉協議会を中心に地域住民や各種団体が主体的に策定する民間の活動・行動計画です。神奈川区では、「地域福祉保健計画」を理念計画として、活動計画を具体的な実施計画として位置づけています。

さらに、上記2つの計画と絡めて、今後各地区ごとの地域性を生かした「〇〇地区地域福祉活動計画」の作成に着手します。各地区の社会福祉協議会を中心とした地域住民の身近な福祉活動を積極的に展開し、「福祉のまちづくり」を目指します。

